

社会貢献活動

鹿島グループは、「社業の発展を通じて社会に貢献する」と謳う経営理念に基づき、事業活動の遂行とともに、良き企業市民として社会や地域の課題解決に取り組み、社会の持続的発展に貢献します。

2021年4月に制定した「鹿島グループ 社会貢献活動方針」のもと、「防災活動と災害復旧」「地域貢献」「環境保全」「次世代教育」、財団を通じた「学術・文化・芸術の振興」に取り組んでいます。

次世代教育

「100年を創造するチカラ」キャリア教育アワード大賞を受賞

鹿島が社会貢献の一環として2020年度から全国の高校に無償提供している探究教材「100年を創造するチカラ」が、第12回キャリア教育アワードの最高位である「経済産業大臣賞(大賞)」を受賞しました。

本教材は、当社が携わったプロジェクトを題材に「まち」「世界遺産」「伝統継承」「共生」の4つのテーマに沿って、映像を使用したワークを通じて課題の設定・情報収集・整理・分析・まとめ・表現といった探究に必要なスキルを学ぶことのできる構成となっています。「総合的な探究の時間」の授業が必修化した2022年度は、61校、約1万1,200名の高校生に教材を提供し、学びを支援することができました。

このたびの受賞では、継続的なPDCAサイクルが具体化されている点や、授業を通じ生徒の意欲・能力の変容を評価できる定量的なKPIが設定されている点などが高く評価されました。鹿島は今後も、社会貢献活動の一環として次世代教育支援に継続して取り組んでいきます。



キャリア教育アワード
授賞式にて。表彰を受ける当社管掌執行役員

学術・文化・芸術の振興

東京大学に「KAJIMA HALL」開設

2023年3月、鹿島の設計施工による寄附で、東京大学本郷キャンパス(東京都文京区)内に建つ東京大学工学部1号館の「15号講義室」とホワイエの改修工事が完成し、「KAJIMA HALL:15号講義室」と命名されました。新講義室は、歴史的空间を継承しつつ、最先端の研究・教育の拠点に相応しい先端設備が実装され、将来的にはセンサ機器を増設し、各研究室と連携した実証実験の場として活用されます。



入口サイン



KAJIMA HALL: 15号講義室内

財団を通じた学術・文化・芸術の振興

公益財団法人 鹿島学術振興財団

1976年設立。日本の学術の発展並びに学術の国際交流を図るため、自然科学及び人文社会科学の幅広い分野を対象とし、一般研究助成、特定テーマ研究助成、研究者交流援助(派遣・招へい)、国際共同研究援助、国際研究集会援助などの事業を行っています。

2022年度は、合計79件、総額1億5,740万円の助成・援助を決定。毎年、採択者の贈呈式、研究成果の発表会を開催しています。

公益財団法人 鹿島美術財団

1982年設立。美術の振興を図り、日本の文化の向上と発展に寄与することを目的として、美術に関する調査研究助成、出版援助、国際交流援助、美術普及振興を行っています。

2022年度は合計79件、総額7,160万円の活

動を実施。毎年、調査研究助成者のうち優れた成果を上げた者に対し鹿島美術財団 財団賞・優秀賞を授与し、受賞者による研究の発表会を開催しています。2022年、ホームページを刷新し助成した研究や出版物の検索、助成者の研究・活動を紹介する等、事業の内容を充実させ展開しています。

公益財団法人 鹿島育英会

1956年設立。経済的に恵まれていない国内の大学生、大学院生及び外国人留学生に対して奨学生の給付援助を行っています。2022年度は全134人に総額1億724万円の奨学生を支給しました。

一般財団法人 鹿島平和研究所

1966年設立。国際平和の推進と日本の安全確保などに寄与することを目的とし、国際間

の平和・安全・経済、日本の外交に関する諸問題の調査研究とその援助、研究成果の出版を実施しています。

公益財団法人 渥美国際交流財団

1994年、外国人留学生対象の奨学支援事業と留学生を通じた国際交流事業を目的として設立。2022年度からは日本人学生も対象に、これまで53か国・地域からの366人に奨学支援を実施しています。また、世界各国で大学教員や研究者として活躍する元奨学生を主体にアジア未来会議をはじめとする国際学術会議やフォーラム、スタディツアなどの国際交流事業を国内外で展開し、国際交流ネットワークの構築を目指しています。